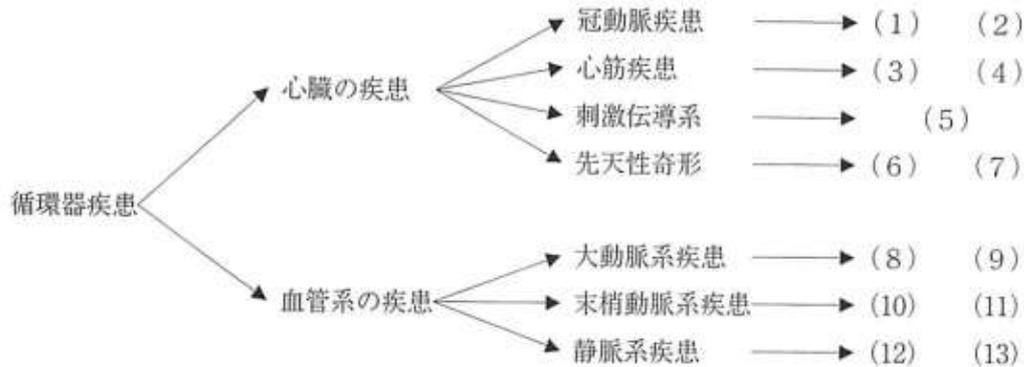


## 臨床医学4 第10回

8-1 次の図で（）内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。



語群  
語群

- a. 各種不整脈 b. 大動脈解離 c. 動脈硬化 d. 心筋梗塞  
 e. 狭心症 f. 心筋炎 g. 静脈血栓 h. 心房中核欠損症 i. 血管閉塞  
 j. 静脈瘤 k. 心室中核欠損症 l. 心筋症 m. 動脈瘤

8-5 心臓カテーテル検査方法で、（）内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

- ・ (1)、(2) の内圧測定。
- ・ (3) やシャント量の測定。
- ・ (4) 分析。
- ・ 造影剤を注入し (5)、(6)、血管造影。
- ・ (7) は虚血性心疾患の確定診断に行い、(8)、(9)、(10) の有無などをみる。

語群

- a. 右室 b. 右心系 c. 冠動脈撮影 d. 狭窄 e. 血液ガス  
 f. 左室 g. 左心系 h. 心拍出量 i. 閉塞 j. 攣縮

8-6 次の（）内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

心エコー図は、超音波を用いて心臓や大血管の（1）や（2）の変化、（3）を体表面より非観血的に評価する方法である。心エコー図によってわかるものは、（4）、（5）、（6）、（7）、（8）、（9）などである。

語群

- a. 壁運動 b. 機能 c. 逆流の有無 d. 形態 e. 血流動態  
f. 心腔内のシャント g. 壁の厚さ h. 弁の形状

8-8 心雑音について、次の（）内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

心雑音の的確な聴診が（1）、（2）には有用である。心雑音は、心室収縮期に生じる（3）、拡張期に生じる（4）、両心周期にわたって連続する（5）があり、軽度の収縮期雑音は（6）と診断されることがある。

語群

- a. 拡張期雑音 b. 機能性雑音 c. 収縮期雑音  
d. 心弁膜症 e. 先天性心疾患 f. 連続性雑音

8-13 次の（）内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

僧帽弁狭窄症の外科的治療は、（1）、（2）、（3）がある。

語群

- a. MVR b. AVR c. PTMC d. OMC e. CABG

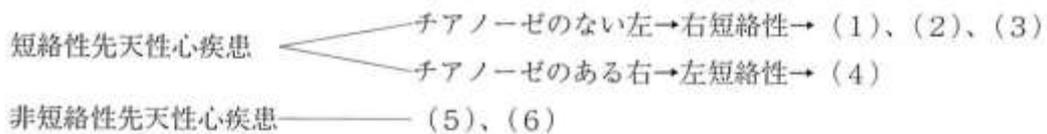
8-16 次の ( ) 内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

僧帽弁閉鎖不全症または僧帽弁逆流症の原因は、(1) の後遺症、膈索断裂を含む (2)、感染性心内膜炎や、それによる (3) や (4)、乳頭筋の機能不全や左室内腔拡大を伴う (5) などである。(6)、(7) などの症状の原因となる。

語群

- a. リウマチ熱 b. 右心不全 c. 左心不全 d. 心筋梗塞  
e. 穿孔 f. 僧帽弁逸脱症候群 g. 弁破壊

8-18 先天性心疾患分類について、( ) 内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。



語群

- a. ファロー四徴症 b. 心室中核欠損症 c. 心房中核欠損症  
d. 大動脈弁狭窄症 e. 動脈管開存症 f. 肺動脈弁狭窄症

8-26 次の ( ) 内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

虚血性心疾患とは、動脈硬化などにより冠動脈に (1) が生じ、心筋に十分な (2) が供給されずそのために (3)、(4) などの胸部症状がでる症状。一過性の心筋虚血である (5) と、心筋壊死を伴う (6) に大別される。

語群

- a. 狭窄病変 b. 狭心症 c. 胸痛 d. 胸部圧迫感 e. 酸素  
f. 心筋梗塞

8-29 次の（）内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

狭心症の治療の一般的療法は、冠動脈疾患の危険因子を取り除くための（1）、禁煙や過労、ストレスをさける（2）である。薬物治療は、発作時は（3）の舌下。冠動脈を拡張し、静脈系を拡げる（4）や、心拍数、心筋の収縮力の減少、心筋酸素消費をおさえる（5）、血管平滑筋を弛緩させ血管を拡張し血圧を低下させる（6）がある。最近では、経皮的に挿入したカテーテル用いて冠動脈を拡張したり、部位を削り取ったりする（7）、血液の流通路を新たに造設する外科的手術の（8）が積極的に行われている。

語群

- a. Ca拮抗薬 b. PTCA・PCI（経皮的冠血管形成術） c.  $\beta$ 遮断薬  
 d. ニトログリセリン製剤 e. 栄養指導 f. 硝酸薬 g. 生活習慣の改善  
 h. 大動脈肝動脈バイパス手術

8-33 次の（）内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

感染性心内膜炎は、細菌、真菌などの感染により、（1）である（2）に感染病巣を作り、（3）の経過である。患者の約半数は（4）を有している。また、（5）、（6）、（7）などによる免疫能低下があると、発症しやすい。発症には（8）の体内への侵入が必ずある。感染が悪化すると、感染巣より細菌が血液に流入し菌血症、（9）から（10）、多臓器不全などにより死亡に至る場合がある。

語群

- a. DIC b. ステロイド治療 c. 悪性腫瘍 d. 基礎心疾患  
 e. 起因菌 f. 心膜炎 g. 糖尿病 h. 難治性 i. 敗血症 j. 弁膜

8-36 拡張型心筋症について正しいものには○、誤っているものには×を記載しなさい。

- (1) 心筋の変性、脱落により収縮力亢進がある。
- (2) 両室の収縮障害と心室の拡張がおこる。
- (3) 心筋の厚さが厚くなる。
- (4) 肺静脈圧上昇から肺うっ血となる。
- (5) 肝腫大、浮腫に進行する。
- (6) 家族内発症がみられることがある。
- (7) 不整脈源性右室心筋症が含まれ、突然死する例がある。

8-37 肥大型心筋症について正しいものには○、誤っているものには×を記載しなさい。

- (1) 心室壁の肥厚を特徴とする。
- (2) 非対称の心室中隔のみの肥大を呈するものもある。
- (3) 左室収縮機能障害が必発する。
- (4) 心拍出量の低下。
- (5) 約半数に家族内発症がある。

8-39 左心不全、右心不全それぞれの自覚症状で適したものを語群より選び、記号で答えなさい。

- ・左心不全：(1)、(2)、(3)、(4)、(5)
- ・右心不全：(6)、(7)、(8)、(9)、(10)

語群

- a. 易疲労感 b. 咳漱 c. 肝肥大 d. 起坐呼吸 e. 血痰  
f. 呼吸困難 g. 食欲不振 h. 体重増加 i. 尿量減少 j. 浮腫

8-42 脳出血の部位別の症状で、あてはまるものを語群より選び、記号で答えなさい。

(1) 脳出血のうち最も頻度が高く、レンズ核線条体動脈の破裂によることが多い。進行するに従い意識障害は昏睡状態になる。

(2) 視床穿通動脈の破裂が多く、内包を障害する。片麻痺、下方への共同偏視、昏睡に陥ることもある。

(3) 脳出血で最も予後が悪い。数分で昏睡、四肢麻痺、除脳硬直となる。

(4) 激しい嘔吐・後頭痛、回転性めまいで発症する。四肢に麻痺はないが起立、歩行が不能なことが特徴である。

語群

a. 橋出血 b. 視床出血 c. 小脳出血 d. 被殻出血

8-43 次の ( ) 内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

脳梗塞は、脳血流障害により脳が (1) される状態で、発症機序によって脳血栓、(2) に分類される。脳血栓には (3) と (4) がある。

語群

a. アテローム血栓性脳梗塞 b. 脳塞栓 c. ラクナ梗塞 d. 破壊

8-44 次の ( ) 内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

硬膜下血腫は、(1) と (2) との間の出血である。急性・亜急性は (3) が原因で、慢性は症状が (4) にわたり徐々に出現する。脳表より静脈洞に入る (5) の破裂が多い。

語群

a. クモ膜 b. 硬膜 c. 数ヶ月 d. 静脈 e. 頭部外傷

8-45 次の（）内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

脳出血の検査では、出血の正確な部位、大きさ、進展を診断できる（1）検査がある。治療は、まずは安静で、薬物療法により（2）をとる、代謝を（3）させる、（4）が目標である。外科的療法は（5）、（6）、（7）が適応で、リハビリテーションは、神経症状に対しては（8）、（9）が得られればなるべく早期より開始する。

語群

- a. CT b. 血圧コントロール c. 血圧低下 d. 小脳出血 e. 促進  
f. 脳浮腫 g. 脳浮腫コントロール h. 皮質下出血 i. 被殻出血

8-48 次の（）内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

脳梗塞の症状は、頸動脈系では（1）、（2）、（3）、（4）、意味のある動作が出来なくなる（5）、感じてはいるがそれが何か認知できない（6）がある。椎骨脳底動脈系は、頸部領域にみられる交感神経障害の（7）がある。この3徴候は（8）、（9）、（10）である。

語群

- a. ホルネル症候群 b. 眼球陥凹 c. 眼瞼下垂 d. 失語 e. 失行  
f. 失認 g. 縮瞳 h. 半身感覚障害 i. 半盲 j. 片麻痺

8-49 次の（）内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

もやもや病は、主として若年の女性に（1）のような症状で発生し、（2）で特徴的な不明瞭な像がみられる原因不明の疾患である。慢性に進行した（3）の閉塞症が原因ではないかといわれている。

語群

- a. ウィリス動脈輪 b. 脳血管造影 c. 脳卒中